

平成21年度事業報告

(平成21年12月19日の設立総会～平成22年3月31日)

1.事業の成果

今年度は、「清水市民活動センターの指定管理者としての受託をめざし、申請の為の事業企画その他を作成しながら、役員及び会員の学習を進める。外部研修は必要なものは、参加する。」を目標に進めてきた。指定管理者となることができ、会員特に役員には、新たな経験や学びとなった。この成果を元に、これからの具体化に一層努力し、信頼されるセンター運営に心がけたい。指定管理が取れたので、その準備に力を入れた。会員それぞれの専門性を生かした協力もあり、無事センターの指定管理事業を22年度から開始することができた。

総会後の交流会は、初めて顔を合わせる会員同士もいて、良い雰囲気で行うことができた。

2.事業の実施に関する報告

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出(千円)
1 市民活動支援事業						0
1-①指定管理応募のための作業	①市民活動センターの指定管理事業応募のための作業	12月19日～翌1月8日	はーとびあ他	4人	4人を対象に、16回	5
1-②人材育成・研修事業	①学習会	12月19日～翌3月31日	はーとびあ他	4人	4人を対象に、5回	0
	②会員交流事業	2月6日	カプリコーン	2人	会員を対象、9名	0
	③外部研修	2月12日、14日～15日	あざれあ・兵庫西宮市	1人	2回	0
1-③指定管理の準備作業	全指定管理者や市との引継ぎ・事業企画準備・雇用の準備など	2月10日～	清水市民活動センター他	4人	5人を対象、26回。7人対象に2回ほか	15
1-④指定管理の準備・契約など	指定管理の準備として契約など	3月	清水市民活動センター他	2人		0

1市民活動支援事業

1-①指定管理応募のための作業

設立総会からのわずかな期間に、理事会メンバーで申請書を作成した。ニーズ把握、中間支援機能の強化や人材育成を中心に提案した。全部で3団体の応募があった。2月8日の公開プロポーザルではNPOサポート・しみずの強みを生かしたプレゼンテーションができた。

1月27日、郵送にて、静岡市指定管理選定委員会より、指定管理者の候補となる通知がきた。

3月24日、静岡市議会で指定管理者となる議決がされた。

1-②人材育成・研修事業

指定管理応募の申請書類を作成する過程で、担当したメンバーにとっては、NPO法人の設立準備、中間支援について、学ぶ良い機会となった。

会員交流は臨時総会后に、初めて交流会を行った。

指定管理者として様々なスキルが要求されるので、意識的に理事長が外部の研修に参加した。NPO法人市民活動センター神戸主催の中間支援組織・スタッフ研修会に参加した。これは、様々な中間支援のやり方がある中で、今後の参考となった。

また、今後の事業を考えるために、ソーシャル・ビジネス研究会に参加。

1-③指定管理の準備作業

2月10日の市民生活課と前指定管理者との引継ぎの会議から開始された。膨大な項目の引継ぎ事項があり、センター長やスタッフとしての経験がある2人が担当したが、容易ではなかった。また、新しいスタッフについては、ハローワークを通しての募集と面接、以前のスタッフへの雇用説明会の開催、個別面接などを行い、スタッフを決定した。そして、3月28日に事前研修と会議を持った。

1-④指定管理の準備・契約など

具体的な準備、各契約・備品の購入・HP立上げの準備など前払い金支払を伴う準備も進めた。